

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科合着用ガラスポリアルケノエート系レジンセメント（70841002）
（歯面処理材（70859000）、歯科用練成器具（70682000）、歯科用充填・修復材補助器具（38782000）**）

オルソリー グラスボンド

再使用禁止：オルソリー ミキシングチップ S L

【禁忌・禁止】

- ・ガラスアイオノマーセメント、メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー、ポリアクリル酸に対して発疹、皮膚炎などの過敏症状の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・再使用禁止 オルソリー ミキシングチップ S L
- ・併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状・構造及び原理等】

形状・構造*、**

構成品	性状	容器	組成
グラスボンドカートリッジ S L	Aペースト：8.9 g (4.2 mL) Bペースト：4.4 g (3.0 mL)	カートリッジ	フルオロアルミノシリケートガラス、メタクリル酸エステル
ジェルコンディショナー：1.4 g (1.2 mL)	ジェル	シリンジ	ポリアクリル酸、蒸留水、二酸化ケイ素

オルソリー ミキシングチップ S L

材質：ポリプロピレン、ポリオキシメチレン

付属品

ジェルコンディショナー ブラシチップ

原理

歯面表面を、ジェルコンディショナーの主成分であるポリアクリル酸により処理する。グラスボンドカートリッジ S L を構成する A ペーストと B ペーストは、オルソリー ミキシングチップ S L 内のミキシングエレメント（攪拌羽）により練和され、フルオロアルミノシリケートガラスとポリカルボン酸水溶液との酸-塩基反応、及びメタクリレート系モノマーの重合反応により硬化する。

特性*、**

項目	規格	参考値
操作時間	5 分 00 秒以上	10 分 00 秒
X 線造影性	同じ厚さのアルミニウム以上	適合

(JIS T 6609-2 による)

【使用目的又は効果】*

歯科矯正用装置の口腔内硬組織への合着に用いる。

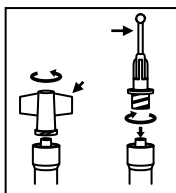
【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

- 1) サホライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、歯質と十分な接着力が得られない場合があるので、留意して使用すること。

【使用方法等】

前準備

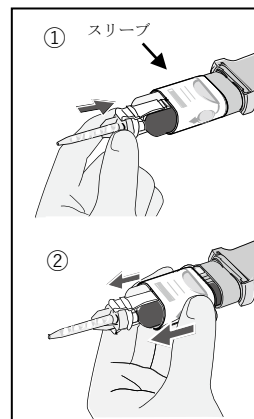
- ①ジェルコンディショナーのシリンジ本体を上に向け、ウイングキャップを反時計回りに回しながら外します。
- ②ジェルコンディショナー ブラシチップを時計回りに回しながら装着します。



- 1) 歯面清掃：細かい粒子の研磨ペーストをブラシ又はカップにとり、低速のエンジンで接着歯面を清掃します。
- 2) 歯面の処理：接着部位にジェルコンディショナーを塗布し、10 秒後に水洗・乾燥を行います。

- 3) ジーシー CD ディスペンサーⅢにグラスボンドカートリッジ S L を装着します。キャップ取り外し後、両シリンジからペーストを少量押し出してすり切り、両シリンジのペースト位置を合わせます。**

- 4) オルソリー ミキシングチップ S L をカートリッジに最後まで押し込み（右図①）、スリーブの側面を持ち、前方にスライドさせて（右図②）オルソリー ミキシングチップ S L を装着します。ジーシー CD ディスペンサーⅢのストッパーをレバー根元に設置してからレバーをゆっくり押し、オルソリー ミキシングチップ S L 内にペーストを通して練和します。練和されたセメントペーストを歯科矯正用装置（ブラケットなど）に塗布します。操作時間は練和開始時より約 5 分 00 秒です。



- 5) ブラケットボンディング

- ①ブラケットの接着面に、練和されたセメントペーストを塗ります。
- ②歯面のボンディング部位に圧着します。
- ③余剰セメント除去：過剰にはみ出た余剰セメントは、スクレーパーやエキスポローラーで柔らかいうちに除去します。
- ④光重合：歯科重合用光照射器により照射し、重合します。ブラケットボンディングの場合は、ブラケットの左右より光照射を行います。光照射だけでは硬化が不十分な部位があるため、ワイヤーの装着は光照射後 5 分以降に行います。**

< 歯科重合用光照射器と光照射時間 > **

歯科重合用光照射器	照射時間
ハロゲンランプ歯科重合用光照射器	ブラケットの左右より各 20 秒
L E D 歯科重合用光照射器 (700 mW/cm ² 以上)* ¹	ブラケットの左右より各 10 秒
L E D 歯科重合用光照射器 (2000 mW/cm ² 以上)* ²	ブラケットの左右より各 6 秒

- ・ハロゲンランプ歯科重合用光照射器：有効波長が 400～515 nm
- ・L E D 歯科重合用光照射器：光源が青色 L E D で発光スペクトルのピークトップが 450～480 nm

※ 1：例えば

G-ライトプリマ II P l u s 10モード
スリムライト Lowモード

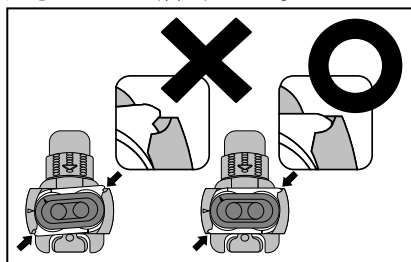
※ 2：例えば

G-ライトプリマ II P l u s F3モード（3秒×2回）
スリムライト Highモード（3秒×2回）

- 6) ディボンディング：撤去は、通法に従い行います。歯面に残るセメントに関しては、超音波スクレーパーやポイントを用いて除去します。

〔使用方法等に関連する使用上の注意〕

- 1) 本材の使用に際しては、歯面処理材（ジェルコンディショナー）を必ず使用すること。
- 2) ジェルコンディショナー ブラシチップは、オートクレープ・ケミクレープにかけられないので注意すること。
- 3) ジェルコンディショナー ブラシチップ装着時は、ジェルコンディショナーがシリンジとのかん合部に付着していると、使用時にジェルコンディショナー ブラシチップが抜け落ちることがあるので、ジェルコンディショナーの付着がないことを確認すること。
- 4) ジェルコンディショナーは、使用する前に必ず口腔外に於いて、ジェルコンディショナー ブラシチップの緩みがないことを確認すること。〔ブラシチップの抜け落ち防止のため〕
- 5) ジェルコンディショナー ブラシチップを確実にシリンジに装着したことを確認し、押し出し操作へ移行すること。
- 6) ジェルコンディショナー ブラシチップを使用する際は、患者及び医療従事者は保護眼鏡を使用すること。〔ジェルコンディショナーが飛び散る可能性があるため〕
- 7) ジェルコンディショナーの押し出し操作時に、シリンジプランジャーはゆっくり押すこと。もし動きが悪い場合はジェルコンディショナーが乾燥していることが考えられるため、ジェルコンディショナー ブラシチップを外し、直接シリンジからジェルコンディショナーを押し出してジェルコンディショナーが出ることを確認し、新しいジェルコンディショナー ブラシチップを装着して使用すること。乾燥が認められた場合には、使用を中止して、新しいジェルコンディショナーを使用すること。
- 8) ジェルコンディショナーの水洗・乾燥は充分に行うこと。
- 9) ジェルコンディショナー ブラシチップはディスポーザブルタイプであるため、繰り返し使用しないこと。
- 10) 本材は常温（15～25℃）での使用を基本とすること。ガラスボンダカートリッジS Lから押し出される練和されたペーストは、室温が高くなると操作時間は短く、また室温が低いと長くなるので注意すること。〔本材の硬化反応は温度の影響を受けるため〕**
- 11) 初めて、あるいは期間をおいてご使用になるガラスボンダカートリッジS Lは、ノズル先端に空気が内在する場合があるので、最初の1回目の押し出しで左右のペーストの先端を合わせること。**
- 12) 練和されたセメントペーストは、無影灯の光により操作時間が短くなるので、歯科矯正用装置装着の際は、必要に応じて无影灯を減光する、又は消すこと。
- 13) 練和されたセメントペーストの硬化状態は、歯科重合用光照射器の照射能力に依存するので、ランプの劣化、ファイバーステッドの汚れに注意すること。**
- 14) エアーシリンジ等を使用して歯面の乾燥を行う場合には、事前にオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。〔接着阻害物質により接着力が低下するため〕
- 15) グラスボンダカートリッジS L使用時は、カートリッジをジーシー CDディスペンサーⅢに装着し、リリースレバーの付け根部分を止まるまで押し込む際、ペーストがノズルから出る場合があるので、キャップは外さずに行うこと。**
- 16) グラスボンダカートリッジS L使用時は、適切な比率でペーストを採取するために、カートリッジは確実にジーシー CDディスペンサーⅢに装着すること。またカートリッジは、最後まで回しきったことを確認すること。**

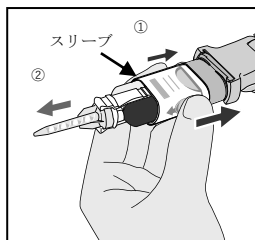


- 17) 練和されたセメントペーストの硬化性に影響することから、オルソリー ミキシングチップS L装着前にすり切り操作を行うなどして両シリンジのペースト位置合わせを行うこと。すり切り操作時は、ジーシー CDディスペンサーⅢのレバーを戻してしまうと、押し出されたペーストがカートリッジ内部に引き戻されてしまうので、レバーを押したままの状態ですり切ること。
- 18) セメントペーストの押し出し操作中のオルソリー ミキシングチップS L脱落防止のため、オルソリー ミキシングチップS Lは確実に装着すること。またオルソリー ミキシングチップS L装着時は、接合部に手指を挟まないよう注意すること。
- 19) セメントペーストを急激に押し出すと、オルソリー ミキシングチップS Lが脱落する恐れがあるので、押し出し操作はゆっくり行うこと。
- 20) オルソリー ミキシングチップS Lから最初に押し出されるペーストは、片側のペーストが先行して押し出されてくる恐れがあるので、少量練和紙等に取り除いてから使用すること。
- 21) 練和されたセメントペーストのセメント層が厚くなると、接着強さの低下に繋がる恐れがあることから、ポジショニングの後にインスツルメントなどでしっかり押さえること。
- 22) 練和されたセメントペーストの光照射による初期硬化が完了した後のワイヤー装着は、光照射後5分以降に実施し、弱い矯正力にとどめること。通常の矯正力をかける場合には、ボンディング後24時間経過してから処置すること。
- 23) 光強度の弱い照射器を使用した場合、練和されたセメントペーストが十分な硬化が得られないことがあるので、光強度の強い照射器を使用すること。
- 24) プラスチック製歯科矯正用装置には使用しないこと。*

【使用上の注意】

- 1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - ①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本材及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ①セメントペースト及びジェルコンディショナーに対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ②練和されたセメントペーストの未硬化物及びジェルコンディショナーは、直接素手で触れないこと。練和されたセメントペーストの未硬化物及びジェルコンディショナーに触れる場合は、接触による過敏症を防ぐためにプラスチック手袋、ゴム手袋等を着用すること。
 - ③練和されたセメントペースト及びジェルコンディショナーが、口腔粘膜、皮膚などに付着しないよう充分注意すること。ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること（ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部分については、ココアバターなどを塗布することをお勧めします）。口腔粘膜に付着した場合にはすぐに綿球で拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。また皮膚に付着した場合には、すぐに流水で洗浄すること。目に入った時は、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。**
 - ④光照射の際は保護めがねなどを使用し、照射光を直視しないこと。〔目を痛める恐れがあるため〕
 - ⑤練和されたセメントペーストの硬化物の除去作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が許可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
 - ⑥本材は、【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
 - ⑦本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
 - ⑧セメントが衣類に付着すると除去が困難なことから、エプロンなどを使用して付着を防止すること。
 - ⑨ガラスボンダカートリッジS Lは、オルソリー ミキシングチップS L装着のまま放置せず、使用後はすぐに確実にキャップをすること。またジェルコンディショナーは、ジェルコンディショナー ブラシチップ装着のまま放置せず、使用後はすぐにウイングキャップに付け替えること。**
 - ⑩他の製品と混用しないこと。〔本材の特性が得られないため〕

- ⑪オルソリー ミキシングチップ
SLは、無理な力や角度で装着、
取り外しを行わないこと。ス
リーブを後方にスライドさせ
てから（右図①）、オルソリー ミ
キシングチップSLを取り外す
こと（右図②）。



- ⑫グラスボンドカートリッジSL
の着脱は、プッシュボールが完
全にディスペンサー内部に戻っ
ていることを確かめてから行
うこと。〔ディスペンサーを破
損する可能性があるため〕**
⑬正しい計量のために、グラス
ボンドカートリッジSLのノズル
にペーストが付着した場合は、
ガーゼなどで拭き取ること。**
⑭本材については、試験による
MR安全性評価を実施していな
い。（自己認証による）**

3) 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

（1）〔併用禁忌〕（併用しないこと）

- ①ユージノール系製剤は、本材の硬化・接着を阻害する可能性
があるため併用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・直射日光、高温多湿を避けて、室温で保管する。
- ・グラスボンドカートリッジSLは、オルソリー ミキシング
チップSLを装着したまま保管せず、必ずキャップを装着し
て保管する。**
- ・ジェルコンディショナーは、ジェルコンディショナー ブラ
シチップを装着したまま保管せず、必ずウイングキャップを
装着して保管する。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管
理する。

〔有効期限〕

本材は、包装に記載の使用期限※までに使用する。

※（例 EXP. 2027-02 は
使用期限2027年 2月を示す。）

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元 : 株式会社ジーシー
住所 : 〒174-8585
東京都板橋区蓮沼町 76 番 1 号
主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシーオルソリー
住所 : 〒174-8585
東京都板橋区蓮沼町 76 番 1 号
電話番号 : (お客様窓口) 0120-108-171